



2023（令和5）年度

二中だより

第15号

2023（令和5）年7月6日 発行責任者 加賀谷 登



夏祭り補導・市Pスポーツフェスティバルお世話になりました

7月1日（土）に橘の夏祭りが行われ、本校PTAからも補導に出させていただきました。大変お世話になりました。7月2日（日）には、小勝グラウンドにて市PTA連合会スポーツフェスティバルが行われました。暑い中でしたが、参加者は子どもの頃に戻ったようにウキウキと楽しんでいただように思います。ご参加いただいた皆様お疲れ様でした。また、オープニングセレモニーとして、本校のジャズバンド部が演奏を披露しました。



「あたりまえだけどとても大切なこと」 7月3日全校集会の校長講話より

「あたりまえだけど、とても大切なこと」という話をします。

ある回転寿司チェーンで、高校生が醤油差しや湯飲みをなめている場面がSNSにアップされた事件知っていますね。回転寿司チェーンは、高校生に6,700万円の賠償金を求める訴えを起こしました。このニュースを知っていますか。こんなこと絶対にしないという人、手を挙げてみてください（全員の手が挙がっていた）。小学5年生が自転車で事故を起こし、9,500万円の賠償金を求められるというニュースもありました。小学生に9,500万円の賠償金は多すぎないかと思う人は手を挙げてみてください（10人前後手を挙げていた）。この二つのニュースの事件は、「あたりまえだけど、とても大切なこと」を守ることができなかった結果なのです。

学校生活には「あたりまえだけど、とても大切なこと」があります。どんなことがあるか考えてみてください。

- たとえば あいさつすること。
- たとえば 相手の目を見て話すこと。
- たとえば 宿題は必ず提出すること。
- たとえば 授業の準備はすばやくすること。
- たとえば 学校にもってきてはいけないと決められているものをもってこないこと。
- たとえば 話している人の方に体を向けて聞くこと。

一つ一つあげていたらきりがないのでやめますが、みなさんのまわりには「あたりまえだけど、とても大切なこと」がたくさんあるのです。その「あたりまえだけど、とても大切なこと」がなぜ大切なのかを考えてみてほしいと思います。小学校に入学してから、阿南第二中学校に進学してから、担任の先生やいろんな人たちから、学校や社会でのルールについて話を聞いてきたことでしょうか。なぜ、その決まりやルールを守らなければいけないか考えたことはありますか。

あいさつをすることの大切さについては、5月の全校集会で、「礼を正すとはあいさつをすること。この阿南二中でも2年生の3つの大切、生活スタンダードにもなっています。あいさつは、人間関係をスムーズにすることです。良好な人間関係を築くにはあいさつと返事が欠かせません。あいさつをするということは、相手を大切にすることです。相手を大切にすると、相手から大切にされるんです。」という話をしました。では、他のことはどうでしょう。

- 相手の目を見て話すのはなぜ。
- 宿題を必ず提出するのはなぜ。
- 授業の準備を素早くするのはなぜ。
- 学校にもってきてはいけないと決められているものをもってきてはいけないのはなぜ。
- 話をしている人の方に体を向けるのはなぜ。

ぜひ、考えてみてください。

これまでのみなさんの学校生活を見たり聞いたりしていると、学校や社会でのルールをきちんと守ることができていなかったケースがいくつかあります。なぜ、それをしてはいけないのか、なぜ、ルールを守らなければいけないのか。考えてください。

ルールや決まりを守ることの最終的目的だけ言っておきます。みなさんを守るためです。みなさん一人一人を幸せにするためです。回転寿司チェーンでの動画の高校生や自転車事故を起こした小学生のような目に遭わせないためです。

あと1か月もしないうちに夏休みになります。すっきりした気持ちで夏休みに入るためにも、自分たちの生活をふり返ってみましょう。

※今回の話「あたりまえだけど、とても大切なこと」は、草思社から発行されているロン・クラーク著「みんなのためのルールブック あたりまえだけど、とても大切なこと」を参考にしました。小学校に入学する時に読んで欲しい本ですが、中学生にも参考になる部分があります。お薦めの一冊です。ぜひ読んでみてください。